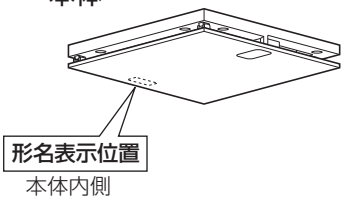
2308876HF2702

MITSUBISHI ELECTRIC

本体



リモコン

「ヘルスエアー機能」搭載 循環ファン ワイヤレスリモコンタイプ

形 名

JC-10KR

取扱説明書

お客様用

お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

- 正しく安全にお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。なお、ご使用の前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 据付け後、試運転を行なう際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。

もくじ

1.安全のために必ず守ること…表紙～2
2.各部のなまえ……2
3.使用前の準備……3
4.使用方法……3～5
5.お手入れのしかた……5～6
6.修理を依頼する前に……7
7.アフターサービス……7～8
8.仕様……8

■ 特長

「ヘルスエアー機能」および脱臭フィルターでお部屋の空気を循環清浄します。
在室時は連続運転でご使用いただくことで効果的に清浄可能です。

「ヘルスエアー機能」搭載：電界・放電空間を形成し、空気中に浮遊するさまざまな物質を抑制する機能

脱臭効果：一過性効率 80%以上（汗臭・排泄臭（アンモニア））、50% 程度（体臭（ノネナール）・消毒臭（エタノール）・タバコ臭）の脱臭フィルターを搭載

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

	禁止		水ぬれ禁止		浴室での使用禁止
	分解禁止		接触禁止		指示に従う

⚠ 警告

禁止	**●ガス漏れに気付いたときは、製品の運転を停止する** 爆発・引火の原因。
禁止	**●可燃性ガスを含むスプレー等を製品にかけない** 爆発・引火の原因。
水ぬれ禁止	**●製品やリモコンに直接水やお湯、かび取剤などをかけない** ショート・感電の原因。
分解禁止	**●改造や工具を必要とする分解はしない** 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
指示に従う	**●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る** 感電・けがの原因。
指示に従う	**●交流 100Vを使用する** 火災・感電の原因。
指示に従う	**●異常・故障時には、直ちに使用を中止する** そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 **〈異常・故障例〉** ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 ●こげ臭いにおいがする。 ●本体据付部に腐食・破損などがある。 など ※ すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。

1.安全のために必ず守ること　つづき

⚠注意

禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因。	接触禁止	●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
禁止	●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災・故障の原因。	指示に従う	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
禁止	●室内くんじょうタイプ（発煙型）の殺虫剤を使うときは運転しない。殺虫剤の使用後は十分に換気してから運転する。 製品内部に薬剤成分が蓄積し、その後運転した時に放出され、健康を害する原因。	指示に従う	●部品の据付けは確実に行う 落下によりけがの原因。
浴室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所では使用しない 感電・故障の原因。	指示に従う	●清掃は安定した台の上で作業する 転倒によりけがの原因。
		指示に従う	●お手入れの際は保護具（ゴーグルや手袋など）を着用する 着用しないとけがの原因。

リチウム電池取扱いの注意

リモコンを安全に使用していただくために、以下の項目を守り、リモコン用リチウム電池を正しくご使用ください。

⚠警告

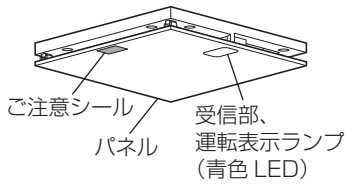
禁止	●電池を充電・分解したり火の中に投入しない 液漏れ・破裂・発火によりけがの原因。
禁止	●電池の⊕と⊖を逆にして使わない 液漏れによりけがの原因。
指示に従う	●電池の液が皮膚や衣服についたら、水で洗い流す けがの原因。 ・電池の中の液が皮膚や衣服についたらきれいな水で洗い流してください。万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。
指示に従う	●電池を乳幼児のそばに放置しない けがの原因。 ・電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

⚠注意

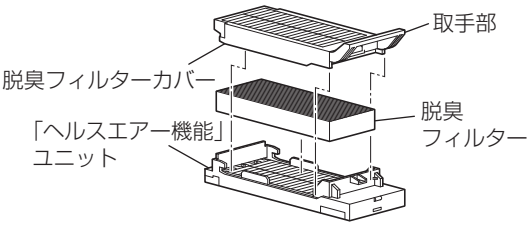
禁止	●電池に強い衝撃を与えない 液漏れ・破裂・発火によりけがの原因。

2.各部のなまえ

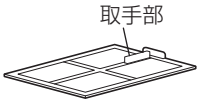
■本体外観



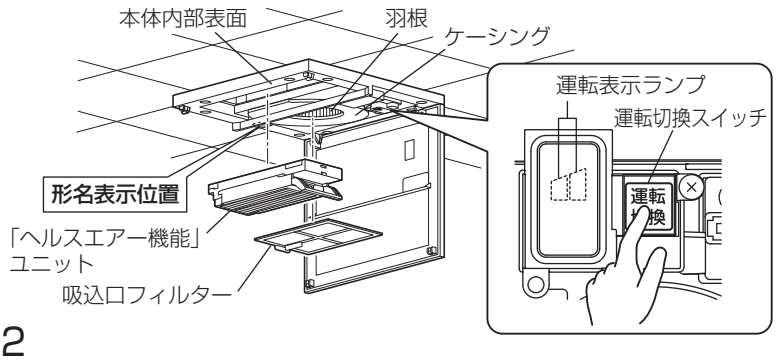
■「ヘルスエアー機能」ユニット



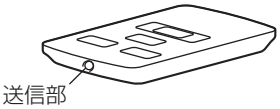
■吸込口フィルター



■本体内部（パネルを開いたところ）

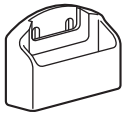


■ ワイヤレスリモコン
……1 個

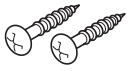


■ ワイヤレスリモコン用
リチウム電池
（CR2025）……1 個

■ワイヤレスリモコン
ケース……1 個



■ ワイヤレスリモコン
ケース据付用木ネジ
（4.5×20）…2 本



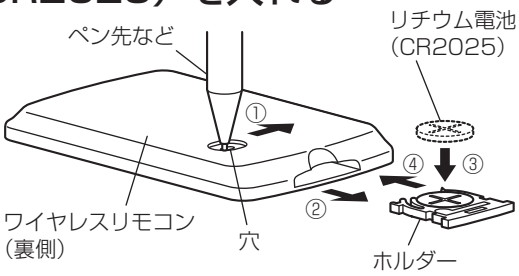
3.使用前の準備

1 分電盤のブレーカーを入れる

2 ワイヤレスリモコンに付属のリチウム電池（CR2025）を入れる

① ワイヤレスリモコンの裏側の穴にペン先などを差し込み、矢印の方向にスライドさせた状態にします。
② ホルダーを引き出します。
- ホルダーは、幼児の電池誤飲防止のため、簡単にはずれないようになっています。

③ ホルダーに電池の⊕を上側にしてのせます。
④ 電池をのせたホルダーを「カチン」と音がするまで押し込みます。

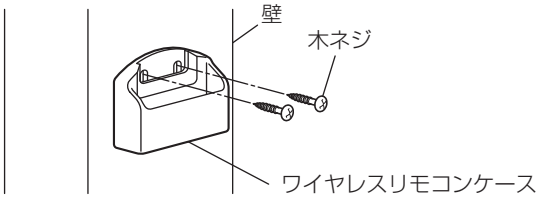


お願い

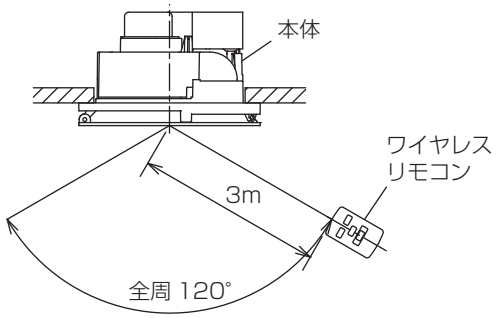
- 電池は必ずホルダーにのせてから差し込んでください。
- 電池にほこりなどがついている場合は、ほこりを落としてから使用してください。
- 指定以外の電池は入れないでください。
- ワイヤレスリモコンが動作しなかったり、操作できる距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。
- 電池交換目安は1年です。ワイヤレスリモコンの操作回数や、使用する電池によって電池の寿命は変わることがあります。
- 電池は消耗品です。ワイヤレスリモコンを使用していなくても電池は消耗します。
  長時間使用しない場合は電池を取り出してください。
- 電池を保管する場合は、電池の⊕⊖に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから保管してください。
- 電池を廃棄する場合は、「各自治体の指示」に従って廃棄ください。
  電池の⊕⊖に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから廃棄ください。
- ワイヤレスリモコンは落下など強い衝撃を加えないでください。
- ワイヤレスリモコンの上に物を置いたり、踏みつけるなどしないでください。
- ワイヤレスリモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ワイヤレスリモコンの分解・改造をしないでください。

3 ワイヤレスリモコンケースの据付け

① ワイヤレスリモコンケースを付属の木ネジで固定します。
- ワイヤレスリモコンで操作できる位置を確かめてから近くの壁に据付けてください。



<ワイヤレスリモコンの受信範囲>



4.使用方法

ご使用にあたってのお願い

- **スプレー（殺虫剤･整髪用･掃除用など）をかけないでください。**（パネル・羽根の破損、変質の原因）
- **高温（40℃以上）になるところに据付けられていないか確認してください。**（製品の変形やモーター焼損の原因）
- **次の場所ではワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。**
  本体受信部とワイヤレスリモコンの間に障害物がある場所、インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している場所、本体の受信部に直射日光などの強い光が当たる場所、テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすい場所。
- **製品据付場所で台所用中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。**
- **ご使用の環境により、製品による空気循環で空気中のちりやホコリが天井や壁などに付着することがあります。**
- **加湿器や湯気、水蒸気が発生する機器の近くでは使用しないでください。**（製品故障の原因）
- **超音波式加湿器と同じ部屋では使用しないでください。**（超音波式加湿器から放出されるカルキやミネラル成分（白い粉）付着による製品の劣化や製品故障の原因）
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（台所用中性洗剤をご使用ください）**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色、故障の原因）

4.使用方法　つづき

この製品の操作は「リモコンによる操作」と「運転切換スイッチによる操作」があります。

リモコンによる操作

本体の運転表示ランプを確認しながらボタンを押して操作してください。

風量「弱」運転切換え

「弱」ボタンを押す

- 本体から「ピッ」と音が鳴り、運転表示ランプが１つ点灯します。

風量「強」運転切換え

「強」ボタンを押す

- 本体から「ピッ」と音が鳴り、運転表示ランプが２つ点灯します。

運転/停止

「運転切/入」ボタンを押す

- 押すたびに「運転」→「停止」→「運転」と切り換わります。
- 運転の際には本体から「ピッ」、停止の際には本体から「ピー」と音が鳴ります。
- 「運転」にすると最初は「弱」運転をします。
- 「停止」にすると運転表示ランプが消灯し停止します。再び「運転」にすると、停止前のモードで運転します。ただし、ブレーカーを切った後や停電した後に運転するときは「弱」で運転を始めます。

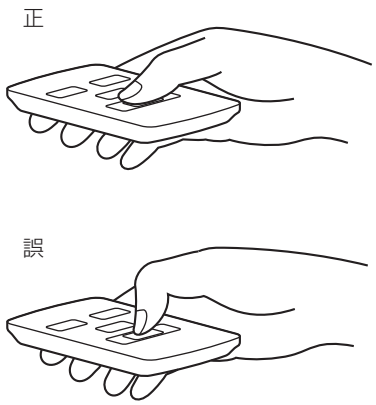
運転表示ランプの消灯/点灯

「運転表示ランプ切/入」ボタンを押す

- 本体の運転表示ランプが押すたびに「消灯」→「点灯」→「消灯」と切り換わります。
- 消灯の際には本体から「ピッ」、点灯の際には本体から「ピピッ」と音が鳴ります。
- 消灯中に「弱」ボタンまたは「強」ボタンを押した場合、約3秒間運転表示ランプが点灯します。

お願い

- リモコン操作はワイヤレスリモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作してください。
- ボタンの操作は中央部を軽く押してください。（右図）
  端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。
  また、破損の原因になることがあります。
- 製品が複数台据付けられている場合、リモコン操作によって同時に動作することがあります。個別に操作したい場合は、「運転切換スイッチによる操作」に従い、運転切換スイッチで操作してください。P.4～5
- 電池は消耗部品です。感度が悪くなった場合は新しい電池（市販品 :CR2025）に交換してください。
- ワイヤレスリモコンによる操作ができないときは「運転切換スイッチによる操作」P.4～5 をご確認いただいて操作するか、「6. 修理を依頼する前に」P.7 をご確認ください。



運転切換スイッチによる操作

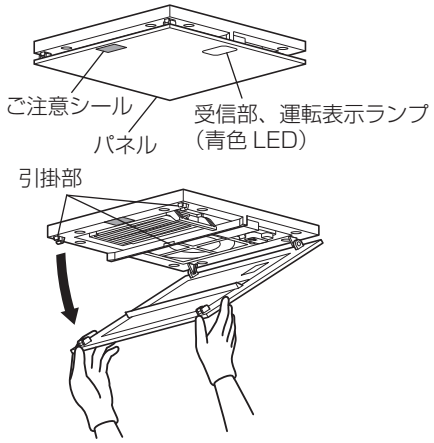
電池切れなどでワイヤレスリモコンが使えないときは、運転切換スイッチで運転を操作してください。
運転切換スイッチは、パネル内にありますので、パネルを開いて操作してください。

1 パネルに指を引っ掛けて開く

- パネルはパネル引掛部3か所で固定されています。
- ご注意シール貼付側を開いてください。

お願い

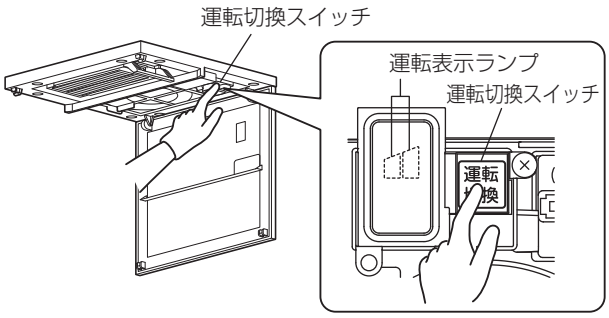
- パネルを開けるときは、パネルから手を離さないでください。
  （勢いよくパネルが開く場合があります）
- パネルが開いた状態から、さらに無理に開かないでください。
  （パネルが破損します）
- パネルを開けるときに、パネルに付着しているほこりなどが落ちてくる場合がありますのでご注意ください。
- 運転中にパネルを開けると、運転が停止します。



2 運転切換スイッチを押して操作する

- 右図のように運転切換スイッチを押すたびに以下のように運転モードが切り換わり、モードに応じた運転表示ランプが点灯します。

- パネルが開いた状態では運転は開始しません。

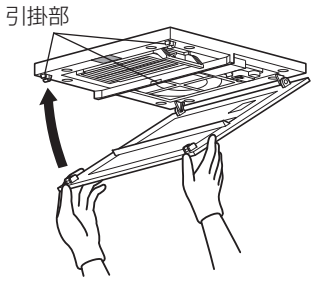


3 パネルを閉じる

- パネルのツメを本体のパネル引掛部に引っ掛けます。
- 選択された運転モードで運転を開始します。

お願い

- ツメ３か所が確実に引っ掛かっているか、確認してください。



5.お手入れのしかた

- **パネル・吸込口フィルターにほこりが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となります。約3か月に1度を目安として、パネル・吸込口フィルターを清掃してください。**
- **「ヘルスエアー機能」ユニットにほこりが付着しますと、性能低下の原因となります。約6か月に1度を目安として、「ヘルスエアー機能」ユニットと脱臭フィルターを清掃してください。**
- **使用環境により清掃時期が早くなる場合があります。**

⚠警告

指示に従う

- **お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
  感電・けがの原因。

⚠注意

指示に従う

- **お手入れの際は保護具（ゴーグルや手袋など）を着用する**
  着用しないとけがの原因。
- **清掃は安定した台の上で作業する**
  転倒によりけがの原因。

お願い ●**ケーシングや羽根は、はずさないでください。**（振動・騒音の原因）

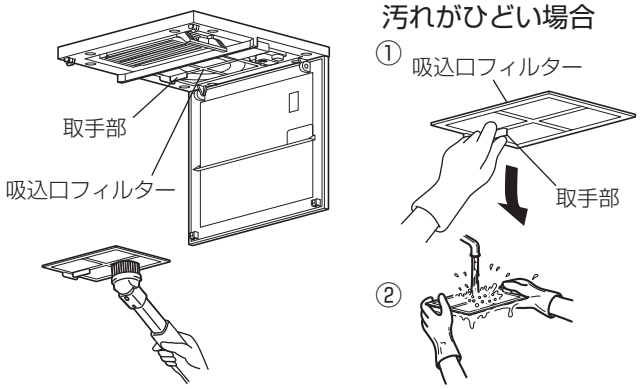
1 パネルに指を引っ掛けて開く

- 「４.使用方法」の「運転切換スイッチによる操作」P.4をご参照ください。

2 吸込口フィルターの清掃

ブラシノズルを取付けた掃除機で、吸込口フィルターのほこりを吸い取る

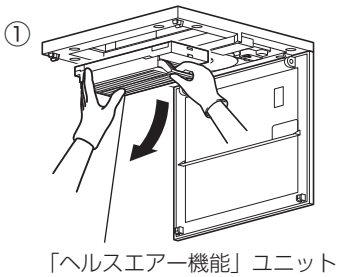
- 汚れがひどい場合は、以下の手順で吸込口フィルターを取りはずして水洗いしてください。
  ① 吸込口フィルターの取手部をつまみ、下にずらして、本体から取りはずします。
  ② 汚れを水またはぬるま湯で洗い流します。

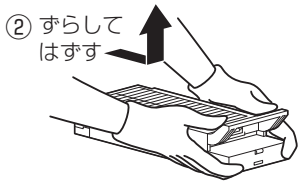


5.お手入れのしかた　つづき

3 「ヘルスエアー機能」ユニットの清掃

①「ヘルスエアー機能」ユニットの取手部に指を引っ掛け、本体内部から引き抜きます。





お願い

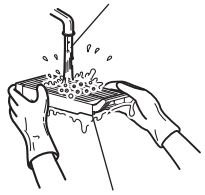
- 必ず両手を添えて引き抜いてください。
  （「ヘルスエアー機能」ユニットが落下するおそれがあります）

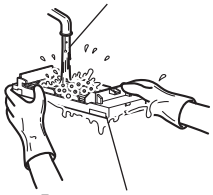
② 脱臭フィルターカバーをずらして取りはずし、中から脱臭フィルターを取り出します。

■「ヘルスエアー機能」ユニット・脱臭フィルターカバー

③「ヘルスエアー機能」ユニットと脱臭フィルターカバーは、汚れを水またはぬるま湯で洗い流します。

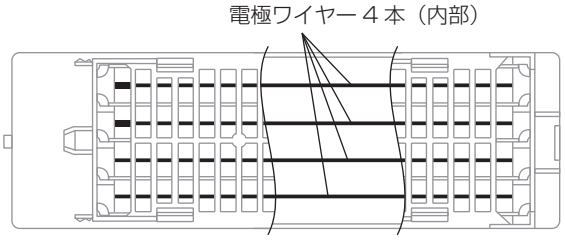
④ 乾いた布で表面の水滴を拭き取り、陰干しで充分に乾燥させます。





お願い

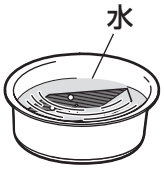
- 「ヘルスエアー機能」ユニット内部に綿棒やブラシなどを差し込まないでください。
  （ユニット内部の電極ワイヤーを切る原因となります）
- 電極ワイヤーが切れてしまったときは交換が必要です。販売店または工事店へ連絡してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸け置きしてください。その後、充分に水で洗い流してください。



正常な電極ワイヤー状態

■ 脱臭フィルター

⑤「ヘルスエアー機能」ユニットから取り出した脱臭フィルターは、汚れを水で洗い流したあと、さらに約 30 分間、水に浸けます。
（時間は目安です。汚れの程度により調整してください）



お願い

- 水以外（お湯や洗剤）は絶対に使用しないでください。
  （脱臭性能が低下する原因となります）
- 脱臭フィルターは、ブラシや高圧洗浄機などで洗わないでください。
  （脱臭性能が低下する原因となります）
- 脱臭フィルターは落下などにより破損するおそれがありますので、取扱いにはご注意ください。

⑥ 陰干しで充分に乾燥させます。

⑦ 清掃した脱臭フィルターを「ヘルスエアー機能」ユニットに取付け、脱臭フィルターカバーを取付けます。
（電極ワイヤーが切れていないこと、たるんでいないことを確認してください）

⑧ 元通り本体内部に据付けます。

清掃で脱臭性能が回復しない場合

- **脱臭フィルターの交換が必要です。**
  別売の「「ヘルスエアー機能」搭載循環ファン専用交換用脱臭フィルター（P-10KDF）」をお買い求めの上、交換してください。
  （脱臭フィルターの交換目安は10年です）

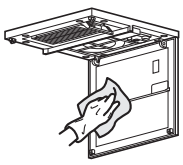
お願い

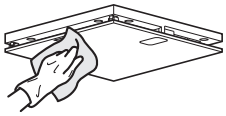
- 「ヘルスエアー機能」ユニット・脱臭フィルターカバー・脱臭フィルターは、陰干しで充分に乾燥させてください。
  （故障や脱臭フィルターのにおい発生の原因になります）
- ドライヤーなどの温風で乾かさないでください。
  （部品の変形や破損の原因になります）

4 パネルと本体内部の清掃

パネル、本体内部表面の汚れは、台所用中性洗剤に浸した布をかたく絞ってふき取ります。

- 汚れをふき取ったあとは、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



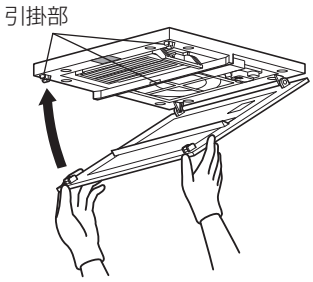


5 パネルを閉じる

パネルのツメを本体枠のパネル引掛部に引っ掛けます。

お願い

- ツメ3か所が確実に引っ掛かっているか、確認してください。



6.修理を依頼する前に

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　　因	点検・処置
運転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします。
ワイヤレスリモコンで操作できない	電池が消耗していませんか	新しい電池に入れ換えてください。
	電池の⊕⊖が逆になっていませんか	電池の向きを正しく入れてください。
	距離が遠すぎませんか	受信範囲内で操作してください。
	送信部、受信部が汚れていませんか	汚れを取り除いてください。
	直射日光など強い光が当たっていませんか	直射日光など強い光が当たらないようにするか、「4. 使用方法」の「運転切換スイッチによる操作」P.4~5を参照して操作してください。
運転中に異常音や振動がする	本体・パネル・「ヘルスエアー機能」ユニットが確実に据付けられていますか	据付け直します。
	パネル・吸込口フィルター・「ヘルスエアー機能」ユニットにほこり・異物が付着していませんか	清掃します。「5. お手入れのしかた」を参照してください。P.5~6
運転表示ランプが点滅している	加湿器や湯気を発生するものが近くにありませんか？	遠ざけてください。
	「ヘルスエアー機能」ユニットにほこり・異物が付着している可能性があります（目に見えないような微小粒子が付着している場合もあります）	清掃します。「5. お手入れのしかた」を参照してください。P.5~6
焦げ臭いにおいがする	故障です運転を停止してください	販売店または工事店へ連絡します。
「ヘルスエアー機能」ユニットから異臭がする	「ヘルスエアー機能」ユニット内部の脱臭フィルターににおい成分が付着しています	清掃します。「5. お手入れのしかた」を参照してください。P.5~6
清掃後に「ヘルスエアー機能」ユニットから異臭がする	乾燥が不十分です	再度乾燥させてください。
「ヘルスエアー機能」ユニットの金属板に模様がついている	放電による表面変化のため問題はありません	異常ではありません。そのままご使用いただけます。

7.アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この循環ファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●長年ご使用いただくためには製品のメンテナンスが必要です。
●モーターは消耗部品です。

■修理を依頼されるときは

●**「6.修理を依頼する前に」**（7ページ）にしたがってお調べください。
●なお、不具合があるときは、分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店にご連絡ください。

●**修理料金は**

技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。
●技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
●部品代…修理に使用した部品代金です。
●出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●**ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱「ヘルスエアー機能」搭載 循環ファン ワイヤレスリモコンタイプ
2. 形　　名　JC-10KR
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご　住　所　（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

7.アフターサービス　つづき

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内
（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471**（無料）

携帯電話対応

三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号　FAX (0573) 66-5659（有料）

■ご相談対応
平 日（土・日・祝及び弊社休日以外）
9：00～12：00
13：00～17：00

修理窓口　住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン **www.melsc.co.jp/support/**
こちらから簡単にアクセスできます。

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

携帯電話の場合
ナビダイヤル TEL **0570-01-8634**（有料）
ナビダイヤル FAX **0570-03-8634**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

三菱電機株式会社
S22A-KANKI-＊

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

8.仕 様

電圧 100V

形　名		消費電力(W)		風　量(m³/h)		騒　音(dB)		質　量 (kg)
	設定	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
JC-10KR	強	12.1	12.9	40	40	36.5	36.5	2.1
	弱	7	7.1	20	20	21	21	

※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれより高くなります。

愛情点検

☆ 長年ご使用の循環ファンの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

使用中止　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。		
	形　　名	
	お買上げ年月日	年　　月　　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
材質名は主材料に ISO 規定の略号を使用。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号